

リアルタイム型授業でオンデマンド動画を流すという斬新な方法

科目名：微分積分学・同演習Ⅰ

担当教員： 廣島文生 教授（数理学研究院）

形式：リアルタイム型

学年：基幹教育科目

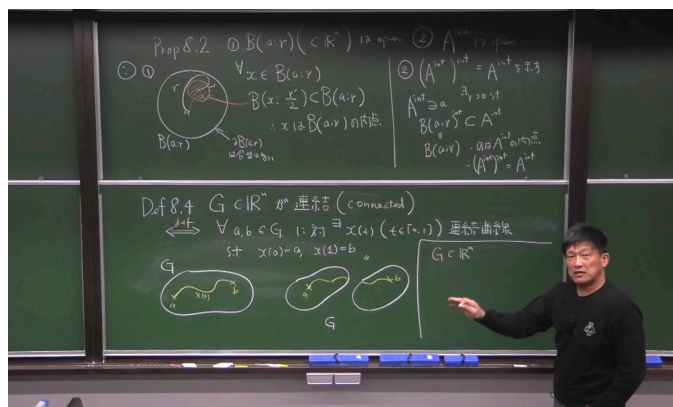
人数：60人

ツール：Zoom

評価方法：レポート、授業への貢献度

Q1. この授業で取り入れられた工夫について、改めて具体的に教えてください

この授業では事前に講義動画を撮影し、Zoomでそれを配信して、教員と学生みんなでそれを見ながら授業を受け、質問を受け付けるというスタイルをとりました。資料をMoodleで共有するのみという方法もあったと思いますが、数学科の1年生に「数学」の雰囲気ができる限り生で味わって欲しいという思いと、講義動画での細かな間違いをその場で修正できるように、ライブ形式にこだわりました。オンライン授業の開始が決まった直後は、数学科でよくあるような、大きな黒板を使った授業をライブで配信する方法も技術的に難しかったので、行き着いた方法が、この事前撮影したものをその場で流すという方法です。



ライブ授業で流されるオンデマンド動画

Q2. 取り入れた結果、学生の反応はどうでしたか

手探りで始めたオンライン授業でしたが、授業中は学生からの質問もあり、総じて授業として十分対面に劣らない質の授業を提供できたように思います。ただ、やはり数学教員としては対面授業の方がいいなという思いもあります（笑）。一方、教員としては、今回改めて講義動画を撮影したことで、自分の授業技術を見直す良い機会になったようにも感じています。

Q3. 取り入れるために必要な準備

以下の準備が必要になります。

- ・録画のための予習
- ・講義動画の事前撮影
- ・授業内での講義動画の配信

～インタビュー雑感～

オンライン授業となると、「どうやってやればいいのか？」に目が行きがちですが、廣島先生は、「どういう授業をしたいか？」にこだわられて、数学のリアルタイム型授業に挑戦された点が、非常に印象的でした。また、オンデマンド形式で撮影したものを学生と一緒に見る方法は、授業中に教員が色々な対応（チャットへの返信など）を可能にする点で、有用性が高いように思いました。